



諸星孝子 議員
(公明会)

療育支援センターの状況について

諸星 療育支援センター「こあら」の開設から1年経過した。1歳6か月児健診、3歳児健診から早期に発達の遅れなどを発見でき、それぞれの発達にあった有資格者を中心に早期に対応している。

①子どもの成長過程を見ることも支援の一つと考える。専門職員の正規雇用の考えを伺う。

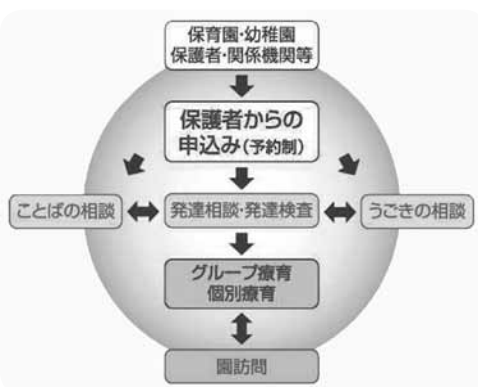
②就学に向けて教育委員会との連携について伺う。

保健福祉部長 ①専門性の高い療育を提供するため、嘱託員ではあるが、心理判定員2人・言語聴覚士・作業療法士・保育士・保健師を配置している。しかし、前年度を上回る相談があり、機能強化と体制整備を図ることから、平成28年度に心理判定員1人の正規職員化を図る予定。

②教育委員会所管の就学支援委員会で検討後、保護者との面談をしている。保護者の就学に対する不安を軽減するため、就学支援担当教諭や相談員、保育園、幼稚園や

療育支援課との情報共有と連携をさらに深めていく。

市長 心理判定員以外の専門職員については、専門職で資格があるので嘱託としていくが、嘱託員手当の検討をしていく。



▲相談から療育等への流れ

東京オリンピック・パラリンピックに向けての点字案内について

諸星 オリンピックは多国籍の人の交流がある。点字をはじめとする福祉サービスの現状と今後の取り組みを伺う。

保健福祉部長 市内で文章を点字化できる人は10人ほどと聞いている。広報誌をはじめ、選挙資料やチラシ等の点訳をしている。



小松快造 議員
(富岳会)

観光客の誘導について

小松 ①平成26年度観光客の入込数の調査発表を受け、市はどのように分析し、分析結果をどのように実行するのか。

②観光客のルート及び交通手段は把握しているのか。

③新幹線新富士駅と東海道本線富士駅の一体化について伺う。

④ホテル誘致の案件があったが、市内宿泊施設の年間を通じて宿泊率はどうか。

産業振興部長 ①観光客の入込数は約598万人。前年度比約4.5%減。朝霧高原周辺が7.5%、浅間大社周辺が10%、富士山周辺が14%、それぞれ減少となった。一方、滝つぼ周辺整備を行った白糸の滝は25%増となった。今後も新しい情報を掘り起こし、継続して関係各所に情報提供を行う。

②交通手段については、数値等の把握はできていない。

市長 ③富士宮市は御当地でないが、そのような話を富士市長に伝える。

産業振興部長 ④宿泊施設の定員稼働率は約28%。

「空き家」を利用した地域活性化への対応について

小松 ①350を超える自治体が空き家条例を設けているが、当市ではどのような検討ができるのか。

②空き家対策として、エアビーアンドビー(※)の利用の検討は考えられないか。

企画部長 ①関係各課により組織された空き家対策会議で、「空き家特別措置法」の研究を行っている。

②エアビーアンドビーの活用は、空き家対策として有効な手段が慎重に見極めたい。

その他の質問
・創エネ・蓄エネ機器等設置補助金について



▲桜の季節、観光客でにぎわう浅間大社

※エアビーアンドビー=空き部屋などを持つ宿泊場所の提供者と宿泊場所を探している旅行者をつなぐインターネット上のサービス。